

コープで  
広がる、  
つながる



公益社団法人日本看護協会 福井トシ子会長（写真中央）に、コープみらい 新井ちとせ理事長（同右）、永井伸二郎副理事長（同左）から寄付目録と応援メッセージをお渡ししました

(公社) 日本看護協会	5,000万円
(公社) 埼玉県看護協会	3,000万円
(公社) 千葉県看護協会	3,000万円
(公社) 東京都看護協会	3,000万円
医療生協さいたま生活協同組合	200万円
東京の14医療生協	530万円



医療生協さいたま生活協同組合では、寄付金でクリーンルーム用の空気清浄機が購入されました

# 奮闘する医療従事者に、 寄付金をお贈りしました

コロナ禍で、さまざまな人が支援を必要としています。コープみらいは医療従事者を支援するため、2020年度剰余金（利益）から寄付を行いました。

## 計1億4,730万円を寄付

新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療従事者の皆さんは過酷な現場で昼夜にわたり奮闘しています。地域医療を懸命に支え続ける人々を支援するため、コープみらいは看護協会・医療生協へ計1億4,730万円を寄付しました。

2020年度は多くの組合員にたくさん利用していただいたことから、予算を超える剰余金を確保できました。今回はその一部を「社会への貢献」として寄付しました。

## 感謝の言葉を いただきました

4月に新井ちとせ理事長、永井伸二郎副理事長が各看護協会・医療生協を訪れ、寄付目録と組合員・役員から寄せられた応援メッセージをお渡ししました。看護協会・医療生協の皆さんからは、「ご支援をいただき、本当に感謝して

います」「この一年大変な思いをしてきましたが、寄付とメッセージは職員への励みになります」「同じ生協として皆さんとも協力しながら、組合員の生活を一緒に支え、社会を明るくしていきたいです」との言葉をいただきました。

寄付金は、医療用物資の提供や看護職員の応援派遣、感染症に対する知識向上など研修・教育、職員のメンタルヘルスサポートなどに活用される予定です。

## 募金による支援も実施

コープみらいでは、昨年6月7月に「新型コロナウイルス感染症に負けない！緊急応援募金」を実施し、組合員の皆さんから5,198万円をお寄せいただきました。募金は千葉県・埼玉県・東京都が行う医療現場への支援や、共同募金会を通じた子どもとその家族への支援、日本ユニセフ協会を通じた途上国の子どもたちへの支援として活用させていただきます。

## コロナ禍で困難を抱える方への 支援も行いました

一般財団法人コープみらい社会活動財団では、子ども・高齢者・障がいのある方などコロナ禍で影響を受けている人々を支援している団体へ、計1,465万円の助成を行いました。子どもたちへの安全な居場所や食事の提供、生活困窮世帯・一人暮らしの高齢者への食材・日用品の配布、虐待・DV防止など、各団体の活動に活用されています。

コロナに負けるな！  
コープみらい・つながり助成  
**96団体 725万円**

コロナに負けるな！  
コープみらい・市民活動助成  
**80団体 740万円**

計**1,465万円**